

一般質問から

『やしお市民生活ガイドブック』について

Q 平成26年度、あらたなものを発行予定の本市の自治体情報誌。昭和53年度から継続されている発行についての変遷を、発行年、タイトル、部数、費用、時系列にてお示し願う。

A 昭和53年度、発行したという話はあるが、資料がないため全て不明。昭和54年度『市民の便利帳やしお』他、不明。平成2年度から平成6年度まで『八潮市民便利帳』他、不明。平成9年度『八潮市民便利帳』部数不明、94万2900円。平成10年度から平成12年度まで『市民生活ガイドブック』平成

1番 福野 未知留

Q 駅周辺の開発に伴い児童・生徒が増加傾向にあります。またこの地域は区画整理施行地域であり、未開道路も多く、通学路も変更、複雑になっているのが現状です。それに伴って、通学路の安全確保の一助として、交通指導員の増員を求め、市が学校関係者から寄せられており、今後、交通指導員を増員する必要があると感じますが、市の考えを伺います。

A 交通指導員につきましては、八潮市交通指導員の設置及び運営に関する規則に基づき、小学校長から推薦をいただき市長が任命しています。南部

2番 朝田 和宏

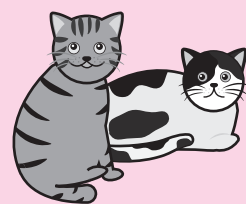
通学路の安全対策について

地域猫活動について

Q 野良猫を減らすためにと県で「地域猫活動」実践ガイドブックを作成しました。その活用と実践について具体的に進めるため地域住民、獣医師、行政、ボランティアなどで協議会を立ちあげることについてお聞きします。

A 県では、動物の適正飼育の推進や処分数の削減に取り組んできましたが、犬の処分数については年々減少しているが、猫には大きな変化がみられないことから猫の問題に取り組むことが、地域の良好な生活環境の向上につながると考え、「地

10番 郡司 伶子



中川包括占用区域の土地利用及び周辺交流について

Q 中川新堤築堤計画が大瀬まで具体化しています。この新堤計画では大瀬公園に少なからぬ影響が出ます。これとの関係で二丁目・木曾根地域の新堤河川敷に広がる包括占用区域の拡大等の検討は行われているのでしょうか。

A 新堤防の計画位置につきましては、大瀬運動公園の河川側を縦断するため敷地が狭くなり、サッカー場とソフトボール場の一部が新堤防用地となることから、機能確保が難しくなる可能性がございます。そのため、大瀬運動公園の機

18番 鹿野 泰司



障がい児・者への支援について

Q 重度の身体障害児・者を抱える越谷特別支援学校の保護者から切実な要望を聞く機会がありました。ハンディを抱える親と子が気軽に相談できる窓口の設置が必要ではないか。

A 現在、本市には障がいに関する相談窓口は障がい福祉課の他、特定相談支援事業所として平成24年度に指定した「八潮市生活支援センターあけぼの」の一箇所があります。

A 現在、本市には障がいに関する相談窓口は障がい福祉課の他、特定相談支援事業所として平成24年度に指定した「八潮市生活支援センターあけぼの」の一箇所があります。気軽に相談できる窓口の設置を進めることが、保護者の

9番 池谷 和代



多田重美八潮市長の行政運営について

Q 多田市長の3期12年の行政運営について実績をお聞かせください。

A 在任中、つくばエクスプレスが開業し、まちづくりや景観を一体的に推進するため、「みんなのできる美しいまちづくり条例」を制定しました。

A 在任中、つくばエクスプレスが開業し、まちづくりや景観を一体的に推進するため、「みんなのできる美しいまちづくり条例」を制定しました。また、地域産業の発展のため、さまざまな産業振興策を進めるとともに、福祉や健康づくりにも力を注いでまいりました。さらに、消防庁舎の建設をはじめ、小中学校の耐震化推進など安全安心なまちづくりにも総合的に取り組んでまいりました。市民

22番 柳澤 功一

また、地域産業の発展のため、さまざまな産業振興策を進めるとともに、福祉や健康づくりにも力を注いでまいりました。さらに、消防庁舎の建設をはじめ、小中学校の耐震化推進など安全安心なまちづくりにも総合的に取り組んでまいりました。市民